

2021年度 宇宙史セミナーⅡ

History of the Universe Seminar

- 2021年度の宇宙史セミナーを以下の日程（13:45～15:00）でオンライン開催します。
- 修士学生による研究発表を通じて学生間の研究の相互理解を、活発な議論を通じて異分野交流を図ります。
- 履修生以外の聴講および議論への参加を歓迎します。

	氏名	発表題目
2/8 Tue	飯田崇史	はじめに
	権代大河	銀河系の渦状構造と分子雲のBDIの関係
	河原昌平	原始惑星系円盤における乱流とダスト成長
2/16 Wed	浦遼太	近傍宇宙にある矮小銀河の多波長の性質と遠方銀河への示唆
	石井達也	ITkStripセンサーの品質管理及び品質保証
	矢野朝陽	反応断面積測定のための固体重水素標的の開発
2/22 Tue	岩永一希	RHIC-STAR実験におけるEPD検出器を用いた中心衝突度の決定について
	青木美和	力学インダクタンス検出器の多素子同時読み出しにおける雑音低減に関する研究
	藤森柊人	20Ghz帯観測のための受信機の開発及び水メーザー天体の観測
3/1 Tue	梅澤智幸	天の川銀河の渦状腕における分子雲進化の研究
	永田遼太郎	LHC-ALICE実験における重クォーク起源ジェットの方角異方性の測定
	茅野太一	南極30cmサブミリ波望遠鏡における2段階ポインティング法の完成
3/8 Tue	黒澤里沙	CO観測データと3次元理論計算の比較による銀河系内部構造の研究
	小関知宏	光子計数型テラヘルツ強度干渉計の開発
	大池駿	RHIC-STAR実験における方位核異方性の測定



筑波大学数理物質科学研究科
宇宙史研究センター
世話人：飯田崇史（数理物質系）